

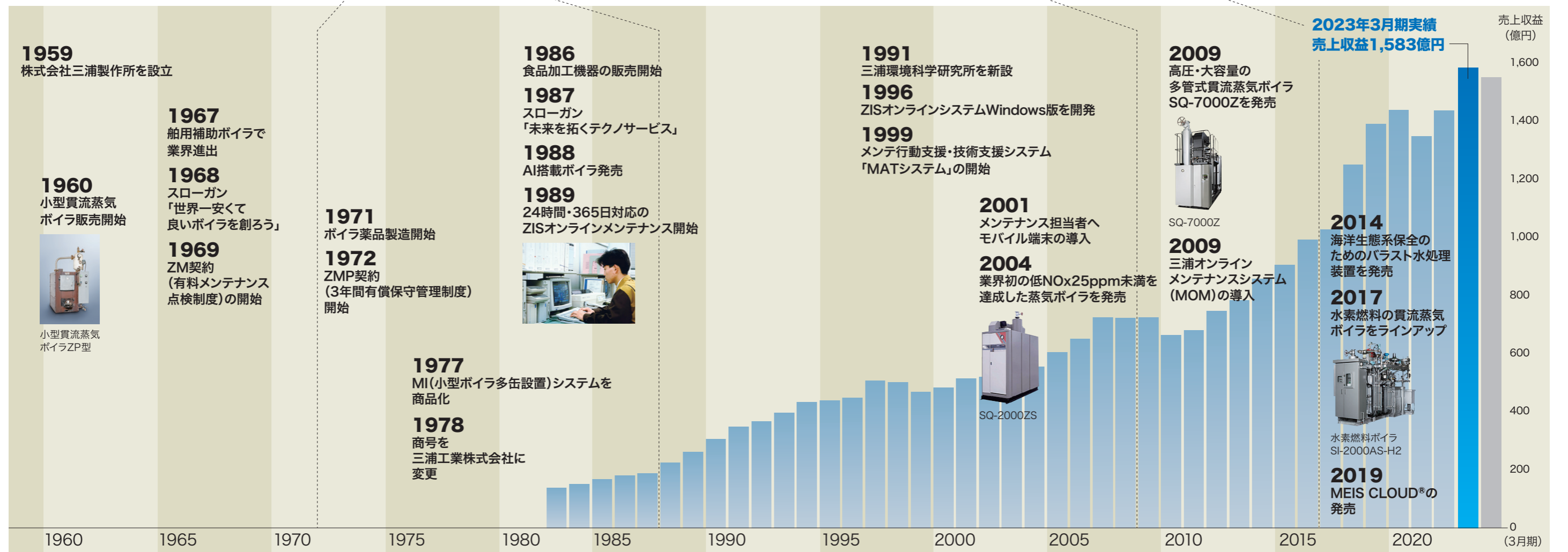
メンテナンスサービスの成長とともに 事業を拡大

時代背景と社会的課題・ニーズ

<p>1959年～ 戦後の好景気 朝鮮戦争による特需景気のなか、精麦・精米に不可欠なボイラの入手が困難になりました。</p>	<p>1965年～ 高度経済成長 急速に発展する日本経済のなか、安くて使いやすいボイラの需要が高まりました。瀬戸内では造船所向けの船用補助ボイラの需要が高まりました。</p>	<p>1972年～ 石油危機 オイルショックが起こり、時代は「省エネ」へ。ボイラにも「使いやすさ」「低価格」に「高効率」がキーワードに加わりました。</p>	<p>1987年～ モノからサービスへ 日本はバブル期に。経済全体にゆとりが生まれ、技術競争だけでなく、さらなる付加価値が求められるようになりました。</p>	<p>2000年～ 地球温暖化問題 1997年、地球温暖化に対する国際的な取り組みのための国際条約「京都議定書」が採択され、CO₂削減などの技術ニーズが高まりました。</p>	<p>2008年～ 新興国の工業化 環境対策が全世界的に求められる時代となり、企業のグローバル展開がより一般的になりました。</p>	<p>2014年～ 環境経営、SDGsへの取り組み SDGs(持続可能な開発目標)が2015年に国連サミットで採択されて以来、国や地方自治体、民間企業などあらゆるステークホルダーが一体となって、サステナブルな社会の実現に向けた動きが加速しています。</p>
---	--	---	--	---	---	---

ミウラのステージストーリー

ボイラ事業草創期	ボイラ事業開花期	ボイラ事業発展期	ボイラ事業成長期/ 多角化事業草創期	ベストパートナー戦略と 多角化事業の成長	トータルソリューションと 事業のグローバル化強化	トータルソリューションのグローバル展開
----------	----------	----------	-----------------------	-------------------------	-----------------------------	---------------------



海外展開

1982年以降、アジア・米州などへの
海外事業展開を開始

- 1982年 韓国に子会社を設立 製造 販売
- 1987年 カナダに合併会社を設立 製造 販売
- 1988年 台湾に子会社を設立 製造 販売
- 1991年 米国に子会社を設立 販売
- 1993年 上海に合併会社を設立 製造 販売

- 2004年 蘇州に子会社を設立 製造 販売
- 2008年 米国に子会社を設立 製造
- 2008年 シンガポールに子会社を設立 販売
- 2009年 インドネシアに子会社を設立 製造 販売

- 2011年 メキシコに子会社を設立 販売
- 2012年 ブラジルに子会社を設立 製造 販売
- 2014年 タイ、オランダに子会社を設立 販売
- 2015年 トルコに子会社を設立 販売
- 2019年 香港、マレーシアに子会社を設立 販売
- 2023年 バングラデシュに子会社を設立 販売